

主語と述語

ステップ 1

◆文の頭は「主語」、文の足は「述語」でしたね。次の文の「主語」を□でかこみ、「述語」には―をひきましよう。

① おじいちゃんが、大きなくしゃみをした。

② かすみちゃんは、一年生なので、そのてつぼうにはまだとどかなかった。

③ 赤いもみじのはっぱが、とてもきれいです。

④ ぼくのお父さんは、じゅういです。

⑤ じゅういのしごことは、どうぶつのびょうきをなおすことです。

⑥ のこりのおこづかいが、三十円しかない。

主語と述語

ステップ2

◆ 次の文から「主語」と「述語」をとりだして、つなげましょう。

① 大きなつづらをはこぶのは、たいへんです。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

② おじいさんは、小さいほうのつづらをもってかえることにしました。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

③ すると、とつぜんへやがまっくらになりました。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

④ そして、おじいさんは、おにぎりをおとしたあなのところにもどってきました。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

⑤ 家にかえって、つづらをあけると、中からたからものがたくさん出てきました。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主語と述語

ステップ3

◆ 次の「 」の中にあることばをつかって、主語と述語のある文を書いてみましょう。

【ひっさつわざ たおす】

リクは、ひっさつわざの「がざんごうほうけん」をくりだして、てきをたおした。

「たおす」を「たおした」のようにして、かたちをかえてもかまいません。

① 【しゅくだいどっさり】

[illegible]

② 【へんしん つえ】

[illegible]

③ 【どうくつ みつける】

[illegible]